



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SUBARU

コード番号 7270 URL https://www.subaru.co.jp/ir/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 知美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,486,810	△7.5	55,040	△74.1	60,010	△71.8	44,312	△47.9
2018年3月期第2四半期	1,608,013	1.9	212,125	1.7	212,726	△6.6	85,005	△48.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 71,073百万円(△25.1%) 2018年3月期第2四半期 94,941百万円(△21.6%)

(注) 2019年3月期より表示方法を一部変更しており、2018年3月期は、遡及適用後の数値で記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	57.79	—
2018年3月期第2四半期	110.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,935,070	1,577,005	53.5
2018年3月期	2,866,474	1,561,023	54.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,569,516百万円 2018年3月期 1,552,844百万円

(注) 2019年3月期より表示方法を一部変更しており、2018年3月期は、遡及適用後の数値で記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2019年3月期	—	72.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,210,000	△0.7	220,000	△42.0	229,000	△39.7	167,000	△24.2	217.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2018年11月5日)公表いたしました「2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	769,175,873株	2018年3月期	769,175,873株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	2,414,091株	2018年3月期	2,455,039株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	766,737,828株	2018年3月期2Q	766,696,067株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績などは今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,397	785,214
受取手形及び売掛金	155,247	151,495
リース投資資産	17,120	15,896
有価証券	242,573	146,250
商品及び製品	202,435	255,002
仕掛品	52,307	71,344
原材料及び貯蔵品	42,448	57,722
短期貸付金	185,364	185,559
その他	107,893	112,882
貸倒引当金	△340	△365
流動資産合計	1,770,444	1,780,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	207,133	212,656
機械装置及び運搬具(純額)	169,814	197,857
土地	184,339	183,304
賃貸用車両及び器具(純額)	18,638	33,600
建設仮勘定	55,908	29,128
その他(純額)	67,276	80,640
有形固定資産合計	703,108	737,185
無形固定資産		
その他	28,293	27,759
無形固定資産合計	28,293	27,759
投資その他の資産		
投資有価証券	113,465	121,449
退職給付に係る資産	82	108
繰延税金資産	139,171	138,800
その他	115,273	132,099
貸倒引当金	△3,362	△3,329
投資その他の資産合計	364,629	389,127
固定資産合計	1,096,030	1,154,071
資産合計	2,866,474	2,935,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,137	335,936
電子記録債務	64,863	63,643
短期借入金	22,082	5,025
1年内返済予定の長期借入金	42,982	15,566
未払法人税等	45,372	13,031
未払費用	255,914	300,400
賞与引当金	24,131	24,328
製品保証引当金	34,743	40,139
工事損失引当金	160	87
事業終了損失引当金	3,098	2,984
エアバッグ関連損失引当金	64,711	64,711
その他	172,813	201,048
流動負債合計	1,051,006	1,066,898
固定負債		
長期借入金	21,138	29,198
繰延税金負債	2,466	2,822
製品保証引当金	35,801	36,854
役員退職慰労引当金	447	445
退職給付に係る負債	19,337	21,277
その他	175,256	200,571
固定負債合計	254,445	291,167
負債合計	1,305,451	1,358,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,197	160,192
利益剰余金	1,283,539	1,272,619
自己株式	△7,054	△6,908
株主資本合計	1,590,477	1,579,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,038	5,901
為替換算調整勘定	△36,193	△8,787
退職給付に係る調整累計額	△10,136	△9,068
在外子会社のその他退職後給付調整額	1,658	1,772
その他の包括利益累計額合計	△37,633	△10,182
非支配株主持分	8,179	7,489
純資産合計	1,561,023	1,577,005
負債純資産合計	2,866,474	2,935,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	1,608,013	1,486,810
売上原価	1,192,083	1,228,118
売上総利益	415,930	258,692
販売費及び一般管理費	203,805	203,652
営業利益	212,125	55,040
営業外収益		
受取利息	2,692	5,562
受取配当金	522	400
持分法による投資利益	399	—
為替差益	5,751	10,255
その他	1,520	2,560
営業外収益合計	10,884	18,777
営業外費用		
支払利息	791	386
持分法による投資損失	—	178
デリバティブ評価損	7,748	11,017
その他	1,744	2,226
営業外費用合計	10,283	13,807
経常利益	212,726	60,010
特別利益		
固定資産売却益	155	1,048
投資有価証券売却益	630	3,571
その他	17	1,695
特別利益合計	802	6,314
特別損失		
固定資産除売却損	2,899	2,471
エアバッグ関連損失	81,261	—
その他	884	856
特別損失合計	85,044	3,327
税金等調整前四半期純利益	128,484	62,997
法人税等合計	43,043	19,220
四半期純利益	85,441	43,777
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	436	△535
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,005	44,312

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	85,441	43,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,000	△1,137
為替換算調整勘定	5,884	27,391
退職給付に係る調整額	1,252	1,068
在外子会社のその他退職後給付調整額	△9	114
持分法適用会社に対する持分相当額	373	△140
その他の包括利益合計	9,500	27,296
四半期包括利益	94,941	71,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,284	71,763
非支配株主に係る四半期包括利益	657	△690

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	128,484	62,997
減価償却費	48,555	51,401
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△178	△8
エアバッグ関連損失引当金の増減額(△は減少)	81,261	—
受取利息及び受取配当金	△3,214	△5,962
支払利息	791	386
固定資産除売却損益(△は益)	2,744	1,423
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△535	△3,343
営業貸付金の増減額(△は増加)	△3,164	△654
売上債権の増減額(△は増加)	4,034	4,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,869	△74,195
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,292	10,005
未払費用の増減額(△は減少)	△409	37,932
その他	37,413	24,851
小計	232,621	109,233
利息及び配当金の受取額	3,564	6,192
利息の支払額	△862	△455
法人税等の支払額	△27,501	△50,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,822	64,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△14,001	4,094
有価証券の取得による支出	△67,856	△56,909
有価証券の売却による収入	71,597	54,790
固定資産の取得による支出	△76,586	△79,555
固定資産の売却による収入	627	3,799
投資有価証券の取得による支出	△28,142	△30,135
投資有価証券の売却及び償還による収入	16,359	22,597
貸付けによる支出	△62,495	△58,318
貸付金の回収による収入	60,278	60,669
その他	△1,213	△1,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,432	△79,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,422	△16,913
長期借入れによる収入	3,400	10,400
長期借入金の返済による支出	△42,572	△29,758
配当金の支払額	△55,154	△55,189
その他	△579	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,327	△92,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,708	28,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,771	△79,380
現金及び現金同等物の期首残高	728,616	765,591
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△534	—
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,690	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	737,543	686,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
持分法適用の範囲の重要な変更

SUBARU-SBI Innovation Fundを新たに設立したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(売上高の計上方法の変更)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社グループは、従来、販売奨励金を販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から控除する方法に変更しております。

この会計方針の変更は、当社グループを取り巻く経営環境において、販売奨励金が増加傾向にあることから、取引実態を改めて精査したところ、取引条件の決定時に販売奨励金が考慮され、実質的に販売価格を構成する一部として捉えられること、及び業務プロセスやシステム構築など経営管理体制が整ったことに伴い、売上高から控除して計上する方法が当該状況をより適切に反映できると判断したことによるものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書の売上高および販売費及び一般管理費はそれぞれ78,296百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社及び主要な国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から、一部の有形固定資産について定額法に変更しております。

この会計方針の変更は、近年、車種のラインナップ強化とフルモデルチェンジ・新商品の間断ない投入により、発売時以降も販売台数が安定化する傾向にあり、また、生産設備の複数車種への汎用化を進めていることから、今後は耐用年数にわたり長期安定的に稼働する傾向になると見込まれるため、当該設備の償却費を耐用年数にわたって均等償却により費用配分を行うことが有形固定資産の使用実態をより適切に反映できると判断したことによるものであります。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が5,838百万円増加しており、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ5,913百万円増加しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結損益計算書関係)

1. 特別損失の内訳は、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

エアバッグ関連損失

乾燥剤が入っていないタカタ製エアバッグインフレーター(以下、「本エアバッグ」という。)に関する市場措置について、2018年3月期以降に実施予定である当社グループの本エアバッグに関する品質関連費用を計上したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,521,733	68,009	1,589,742	18,271	1,608,013	—	1,608,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,548	—	1,548	9,839	11,387	△11,387	—
計	1,523,281	68,009	1,591,290	28,110	1,619,400	△11,387	1,608,013
セグメント利益	205,283	4,174	209,457	2,364	211,821	304	212,125

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,416,406	63,046	1,479,452	7,358	1,486,810	—	1,486,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,504	798	2,302	11,616	13,918	△13,918	—
計	1,417,910	63,844	1,481,754	18,974	1,500,728	△13,918	1,486,810
セグメント利益	49,991	2,982	52,973	1,752	54,725	315	55,040

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(売上高の計上方法の変更)

「(会計方針の変更)」に記載のとおり、売上高の計上方法の変更は遡及適用しております。これにより、前第2四半期連結累計期間における「自動車」の売上高が78,296百万円減少しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「(会計方針の変更)」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「自動車」で5,301百万円、「航空宇宙」で482百万円、「その他」で55百万円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



< 2019年3月期 第2四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 ^{注1} 2018年3月期 第2四半期累計期間 (2017. 4. 1-2017. 9. 30)		当期実績 2019年3月期 第2四半期累計期間 (2018. 4. 1 — 2018. 9. 30)			前期実績 ^{注1} 2018年3月期 通期 (2017. 4. 1-2018. 3. 31)		当期予想 2019年3月期 通期 (2018. 4. 1 — 2019. 3. 31)			前回当期予想 2019年3月期 通期 (2018. 4. 1-2019. 3. 31)			
		当時 発表値		増減	増減率		当時 発表値		増減	増減率				
売上高	16,080	16,863	14,868	-1,212	-7.5	32,327	34,052	32,100	-227	-0.7	32,500			
日本	3,283	3,286	2,874	-408	-12.4	6,680	6,686	6,173	-507	-7.6	6,086			
海外	12,797	13,577	11,994	-804	-6.3	25,647	27,367	25,927	280	1.1	26,415			
営業利益	2,121		550	-1,571	-74.1	3,794		2,200	-1,594	-42.0	3,000			
利益率	13.2	12.6	3.7			11.7	11.1	6.9			9.2			
経常利益	2,127		600	-1,527	-71.8	3,799		2,290	-1,509	-39.7	3,050			
利益率	13.2	12.6	4.0			11.8	11.2	7.1			9.4			
親会社株主に帰属する当期純利益	850		443	-407	-47.9	2,204		1,670	-534	-24.2	2,200			
利益率	5.3	5.0	3.0			6.8	6.5	5.2			6.8			
営業利益増減要因	/		研究開発費	65		/		研究開発費	132		/			
			諸経費等	-913				原価低減等	16					
			売上構成差等	-629				諸経費等	-907					
			為替レート差	-76				売上構成差等	-689					
			原価低減等	-18				為替レート差	-146					
為替レート	111円/US\$ 125円/EURO		109円/US\$ 131円/EURO			111円/US\$ 130円/EURO		110円/US\$ 130円/EURO			105円/US\$ 130円/EURO			
設備投資	545		591			1,414		1,300			1,300			
減価償却費	421		473			898		930			930			
研究開発費	609		545			1,211		1,080			1,200			
有利子負債残高	976		498			862		500			800			
業績評価	/		・2期振りの減収 ・2期振りの営業利益減益 ・3期連続の経常・当期純利益減益			/		・7期振りの減収 ・3期連続の各利益減益			/			
日本販売台数合計			82	65	-17			-21.1	163	/			151	
登録車			67	52	-15			-22.1	133				123	
軽自動車			15	13	-2			-16.4	31				28	
海外販売台数合計			449	417	-32			-7.1	903				950	
北米	364	334	-30	-8.2	728	768								
欧州	21	26	4	20.1	48	44								
中国	14	9	-5	-33.5	27	30								
その他	50	48	-2	-3.2	101	107								
連結販売台数総計	531	482	-49	-9.3	1,067	1,041	-26	-2.4	1,100					
生産台数合計	525	492	-34	-6.4	1,050	1,036	-14	-1.3	1,056					
日本	346	319	-27	-7.9	701	656	-45	-6.4	672					
米国	179	173	-6	-3.6	349	380	31	8.9	384					
売上高事業別	自動車	15,217	16,000	14,164	-1,053	-6.9	30,623	32,349	/					
	航空宇宙	680	680	630	-50	-7.3	1,422	1,422						
	その他	183	183	74	-109	-59.7	282	282						
営業利益事業別	自動車	2,053	500	-1,553	-75.6	3,615	/							
	航空宇宙	42	30	-12	-28.6	123								
	その他	24	18	-6	-25.9	51								
	消去・全社	3	3	0	3.6	7								

注1. 当期より会計方針を変更しています。それに伴い、比較対象となる前期実績の連結売上高および販売管理費も、新しい会計方針に従って再計算を行ったものを記載しています。
この再計算による、前期の各段階利益への影響はありません。当期の業績評価については、再計算した前期実績との比較で記載しています。
また、連結売上高については2017年3月期以前との比較が出来なくなっているため、『過去最高』等の評価はしていません。

注2. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：%（小数点第2位を四捨五入）

注3. 為替レートはSUBARU単独売上レート

注4. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値

注5. 日本生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

2018年11月5日

2019年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2019年3月期 第2四半期累計期間業績:連結売上高>

全世界連結販売台数は、前年同期比9.3%減の482千台となりました。

国内では、7月にフルモデルチェンジを行ったフォレスターの販売が好調に推移したものの、インプレッサ／SUBARU XVの新型車効果が落ち着いたことなどにより、同21.1%減の65千台となりました。海外では、北米市場で販売を開始した新型車アセントが寄与したものの、フルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの販売が減少したこと、主に米国で現地在庫の調整を行ったことなどにより、同7.1%減の417千台となりました。

連結売上高は、同7.5%減^{*1}の1兆4,868億円となりました。

なお、北米小売販売は、アセント、SUBARU XV^{*2}などが寄与し、7期連続で過去最高と好調を維持しています。

<2019年3月期 第2四半期累計期間業績:連結損益>

連結損益については、大規模なリコール等による品質関連費用の増加およびフルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの出荷台数の減少などにより、営業利益が前年同期比74.1%減となる550億円となりました。経常利益は同71.8%減の600億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同47.9%減の443億円となりました。

<2019年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想(2018年8月6日)に対して、販売台数の減少や品質関連費用等の増加などを織り込むことから、全世界販売台数1,041千台、連結売上高3兆2,100億円、営業利益2,200億円、経常利益2,290億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,670億円に修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥110/US\$、¥130/EUROです。

※前回(2018年8月6日)公表の通期連結業績見通し

全世界販売台数 1,100千台

連結売上高 3兆2,500億円

営業利益 3,000億円、経常利益 3,050億円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,200億円

想定為替レート ¥105/US\$、¥130/EURO

*1: 当社は当期より会計方針を変更しています。

従来は、販売奨励金を販売管理費(損益計算書上の表記は「販売費及び一般管理費」)に計上していましたが、当期より売上高から控除する方法に変更しました。

比較対象となる前期(2018年3月期)の連結売上高および販売管理費(「販売費及び一般管理費」)も、新しい会計方針に従って再計算を行っています。その結果、2018年3月期 第2四半期累計期間については、当時(2017年11月6日)の発表値からそれぞれ783億円減少し、連結売上高1兆6,080億円、販売管理費2,038億円となっています。

連結売上高に関する評価(前期比)は、再計算した前期実績との比較で記載しています。

なお、この再計算による、前期の営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

*2: 北米市場での名称: CROSSTREK(クロストレック)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。